



つながりタイ新聞

福岡県内の地域おこし協力隊がさまざまなモノコトを発信



地域おこし協力隊×ふくおかの食

VOL. 22 2023.12

イベント協力者募集！ 地域おこし協力隊コラム



福岡県筑後地区・大分県日田市との県境に位置する【うきは市】の三角より、企画進行中のイベントに関する出店者、事業者さん募集のご案内です。
うきは市では、令和6年3月に新たなイベント「(仮称)春の古墳まつり」を開催いたします。考古学上のみならず美術史上でも貴重な装飾古墳として全国に知られている「屋形古墳群」の一斉公開を記念しつつ、隣接する「身延の桜まつり」の集客力を活かす形で、当日は学芸員による古墳ツアーをはじめキッチンカーやモルック、森林セラピー等の市内既存事業との連携を予定します。物品販売や他地域の情報発信、人脈づくり等、目的や出店スタイル等は問いませんので、ご興味のある方はお気軽にご連絡ください。

【募集要項】

募集日時：12月末日締切 (1月よりwebミーティング等でお打合せさせていただきます。)
開催場所：屋形古墳群ガイダンス広場 開催日時：令和6年3月24日 (※予定)
備品提供：テント (2m×2m程度)、テーブル、椅子はうきは市でご用意します。
応募条件：営利、非営利は問いません。 ※飲食の提供に際しては、営業許可証を得ている方のみとします。
問合せ先：うきは市教育委員会文化財保護係 歴史まちづくりプランナー 三角 俊喜
mail : misumitoshiki.design@gmail.com tel : 0943-76-3343

春の古墳まつり

うきは市

イベント協力者募集



(仮称) 春の古墳まつり
企画概要 URL



UKIHA_CULTURAL_PROPERTY
うきは市文化財保護係
公式アカウント
Instagram

発行元

福岡県地域おこし協力隊新聞部

市町村の枠を超えて集まった、福岡県内の地域おこし協力隊。自分の地域のおもしろいコト、お隣の地域のおもしろいヒト、遠く離れた地域のおもしろいモノ……。地域にとらわれず、さまざまなモノコトを発信します。

Instagram



つながりタイ新聞

つながりタイ新聞は、現在、当ペーパーの発行と、Instagramをメインに活動しています。自分たちの活動のみならず、福岡県で活動しているさまざまな市町村の地域おこし協力隊の情報を発信しています！



ふくおか協力隊図鑑

「ふくおか協力隊図鑑」とは、福岡県内の現役地域おこし協力隊・OB/OGの活動内容や自己紹介をまとめた、ポートフォリオのようなInstagramアカウントです。福岡県地域おこし協力隊新聞部で運営を行っています。



つながりタイ新聞



糸田ふれあい市加工部



金曜日の昼下がり、一週間分の疲れと話のネタをバッグに話めて、道の駅の横にある加工場へと向かう。今日は少し遠回りをしよう。糸田口まで車で一気に駆け登り、烏尾峠をゆったりと下っていく。流れる緑と吹き込む風がなんとも心地よい。

加工場に到着する頃、決まり文句は「タイムカードした？」。ポツポツとアップトースターのような機器が導入されて半年が過ぎたにも関わらず、全員が行きも帰りも忘れなかったことは一度もない。

うん、歳だからというところでしょうか。別に言い訳じゃないよね。だって、最年長は九十歳のおばあちゃん。ここは糸田ふれあい加工部なのだ。

少ししたら、ちっちゃなおばあちゃんや黒く輝く宝石を抱えてやって来る。「もう時期も終わりやね。これが最後やわ。」今年の夏はやっぱり暑過ぎた。カゴの中を覗くと、とよみつひめの名の通り、深い紫色のふっくらとした姿から気品が漂ってくる。今日のしごと、ジャム作りだ。

ライター
まつき きょうこ
松本 響子

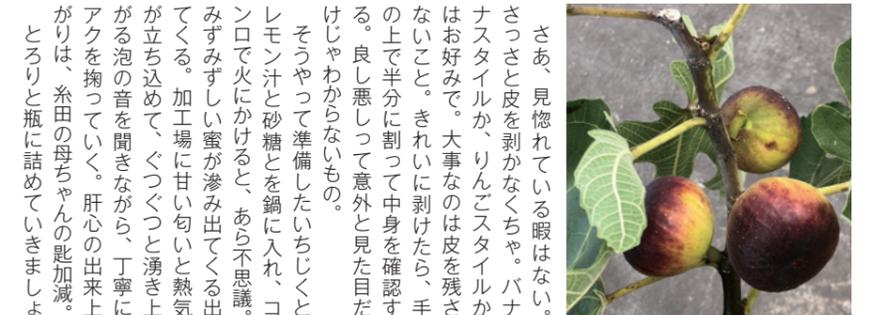
2022年8月、糸田町地域おこし協力隊に着任。千葉県千葉市出身。ふれあい市加工部の組織づくり・業務改善、町の特産品保護・開発、多目的施設とよききたの活用などに取り組む。

糸田ふれあい市加工部

地元の農産物を加工・販売している地域グループ。現在は40~90代の6人ほどで活動(メンバーは随時募集中!)。手作りのジャムや味噌は、道の駅いとだや町の多目的施設いとよききたで購入できるほか、ふるさと納税返礼品としても出品している。

母ちゃんの手作りジャム

果実をふんだんに使用した無添加ジャム。いちじく、キウイ、トマト、いちご、マーマレードの5種類をベースに、季節によって限定商品が出ることも。



さあ、見惚れている暇はない。さつさと皮を剥かなくちゃ。バナナスタイルか、りんごスタイルかはお好みで。大事なものは皮を残さないこと。きれいに剥けたら、手の上で半分に分けて中身を確認する。よしよしと意外と見た目だけじゃわからないもの。

そうやって準備したいちじくとレモン汁と砂糖を鍋に入れ、コンロで火にかけて、あら不思議。みずみずしい蜜がしみ出てくる出てくる。加工場に甘い匂いと熱気が立ち込めて、ぐつぐつと湧き上がる泡の音を聞きながら、丁寧にアクを掬っていく。肝心の出来上がりは、糸田の母ちゃんの匙加減。とろりと瓶に詰めていきますよ。



あなたにとつての「ふくおかの食」はなんですか？



わたし × うきはの食 地域に根付く郷土料理

福岡県の南東部に位置し、大分県との県境にあるうきは市。おしゃれなカフェやショップがどんどん増えている中今回は、郷土料理について紹介。

うきは市の郷土料理といえば高菜巻き、たらおさの煮付け、伽羅露(きやらぶぎ)、なべやき(ふなやき)など。移住者に聞いたうきは市で食べた珍しい食べ物は「鶏足、流川蓮根、豚足、馬刺し、鯉こく、すっぼん、柚子胡椒、ブランド豚」など地元の私達にはとても身近な食べ物達ばかりで驚きでした。



ライター
あか村地域おこし協力隊 柴田 和輝
出身：愛知県名古屋

ライター
うきは市地域おこし協力隊 ラウダーバック 友美
出身：福岡県うきは市



わたし × あかの食 レストラン&カフェ「モクモク」

田川郡赤村、ここは美味しいお米と野菜が自慢の自然豊かな農村です。周りを山に囲まれた人口3,000人ほどの小さな里山に、「日本の伝統である白ご飯を、和×洋×フレンチの融合で美味しく楽しむ!」をコンセプトにした素敵なお店があります。その名も【レストラン&カフェ「モクモク」】。温泉とキャンプが人気の「源じいの森」に併設しているレストランで、ランチやカフェのみの利用もできます。赤村産のお米を土鍋で炊いた白ご飯と、赤村牛100%の炭火焼ハンバーグの相性が抜群です!ぜひ赤村に、心と体を満たしに来てください!



同じ福岡県内でも、地域によって特色の出る「ふくおかの食」。あなたにとつての、「ふくおかの食」とは?三市町村の地域おこし協力隊にも聞いてみました!



わたし × ぶぜんの食 求菩提茶屋

自然豊かで清流が湧き出る豊前市で新たなスイーツが誕生しました。その名も求菩提のしずく。聖なる求菩提の湧水を味わえる水餅。ほろ苦豊前茶シロップときなこをお好みで。11/10にグランドオープンした求菩提茶屋でお召し上がりいただけます。豊前市の老舗珈琲店、稲垣珈琲本舗さんに焙煎していただいたオリジナルコーヒー求菩提ブレンドや地元の茶葉を使用した豊前茶とともにどうぞ。

求菩提茶屋は観光案内や地元の特産品を使ったお土産コーナーも充実しております。豊前市にお越しの際はぜひお立ち寄りください。インスタアカウント@kubote_chaya



ライター
豊前市地域おこし協力隊 平野 七奈
出身：福岡県北九州市